

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
☎ 42-5627
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地



祝！広島カープ リーグ優勝 カープ関連図書・特設コーナー開設

8月2日(火)～31日(水)の約1か月間、中央図書館入口付近に、カープ関連図書の特設コーナーが開設されました。

市所有のものに加え、県立図書館から借り受けたカープ関連図書約100冊を市民に貸出し、25年ぶりの優勝を目指すカープを“真赤激！”に応援するものです。

「鉄人・衣笠祥男の物語」の絵本をはじめ、新旧とり混ぜた図書がずらりと揃い、その場で思わず読み入ってしまう市民も大勢いました。

期間中、貸出し数は延べ160冊を超え、カープのリーグ優勝の盛り上がりと相まって、大変盛況でした。



調理用トマトの収穫を行いました ふるさと応援の会「農産物6次産業化プロジェクト」

8月27日(土)、向原町の稲垣さん宅畑にて、ふるさと応援の会による調理用トマト「温とま(おんとま)」の収穫が行われました。

現在、市では地域農業の維持と発展に向け、ふるさと応援の会「関東地区」から提案された調理用トマトの栽培から加工・商品開発を試験的に行っています。生食トマトと違い、リコピン、β-カロチン、ビタミンCが豊富で食物繊維も多く含まれています。熱を加えると糖度が高くなり、おいしさが増します。

会員の皆さんは収穫をした後、地域おこし協力隊・森本さんが考案された「トマトカレー」を試食され、「温とま」をしっかり味わっておられました。

広島県初のイオン直営農場生産開始 キャベツの『初定植祭』

8月18日(木)、高宮町羽佐竹原山にて「イオン広島安芸高田農場『初定植祭』」が開催されました。

流通大手のイオンの子会社、イオンアグリ創造株式会社の手掛ける全国で21農場あるイオン直営農場のうち20番目となるのが安芸高田農場です。これまで培ってきた生産から出荷までの様々なノウハウを駆使し、効率よく生産することにより、安心・安全な農産物を安定的に供給するのがねらいです。また、地域の積極的な雇用機会の拡大も図られるそうで、地域の活性化も期待できます。

当日植えたキャベツは10月下旬からイオングループの店舗で販売される予定です。



男女共同参画とまちおこし講座 広島平和記念資料館・館長が講演

8月27日(土)、たかみや人権会館において、広島平和記念資料館館長・志賀賢治さんをお招きし、「記憶の継承」と題した講座が開催されました。

現在、世界各国の人達が、広島・長崎の被爆の実相を「知ってこころ、展示を見てみよう」との意識に変わってきたことを語られました。

広島平和記念資料館のこれまでの取り組みや、被爆者の方々の長年にわたり伝え続けてきた強い思いと努力が実り、ようやく世界の人々の心を動かしたのだと実感するお話でした。

また、伝え続ける大切さ、そしてまずは、多くの人に見ていただくことが、資料館の使命であるとも話されていました。



湖畔にドーンと花が咲く 第13回安芸高田花火大会

8月27日(土)、土師ダムのごえ公園を会場に、夏の風物詩である花火大会が盛大に開催されました。

花火打ち上げの前には、ステージやフードコーナー、屋台を楽しむ来場者で会場がいっぱいになり、暗くなるにつれ賑わいも大きくなっていきました。

ステージでは、家族連れなどの多くの観客が野外での迫力ある音楽ライブや神楽を体感しました。今回、念願が叶い、スペシャルゲストとして、安芸高田市出身の塔珍嘉邦さんがステージに登場し、トーク&ライブでは歓声が沸き起こり最後は観客も一体となって盛り上がりも最高潮に達しました。

そして、点火のアナウンスとともに、約1,200発の花火が夜空を彩りました。迫力ある音が、湖畔に響きわたり、夏の終わりを告げました。



オリンピックを目指せるかな？ 「夏休み子供BMX教室」開催

8月10日(水)、土師ダム湖畔BMXコースにおいて、市内小学生を対象にした「夏休み子供BMX教室」が開催されました。

当日は、2回開催された教室に約20人の小学生が集まり、広島県BMX協会会長島田忠彦さんをはじめ協会のスタッフによる指導を受けました。

この土師ダム湖畔のBMXコースは世界大会が開催されるコースであり、トップレベルの選手を間近で見ることができる貴重な場所です。

当日は、大変暑い中にもかかわらず、世界大会にも出場する指導者達の実技指導やデモンストレーションを目の当たりにし、子供たちは大きな歓声を上げていました。



夏休み最後の思い出づくり 京都大学交響楽団安芸高田公演

8月28日(日)、クリスタルアージュ・ホールにおいて、京都大学交響楽団による演奏会が開催されました。

京都大学交響楽団は、1916年に設立された日本で最も古い学生オーケストラの一つで、5年に一度、演奏活動で中国地方を訪問されます。

オペラや管弦楽曲など、様々なタイプの曲を演奏され、観客はアマチュアオーケストラならではの純粋な演奏に聴き入っていました。

ホールを埋めつくした市民からはアンコールの拍手も湧き上がり、夏の最後の思い出とともに、盛況のうちに幕を閉じました。